

令和8年度 ミッションおよび経営改革プラン

団体名	阪神国際港湾株式会社
------------	------------

■ 観点① 公益貢献

ミッション①		
国際コンテナ戦略港湾政策の推進による阪神港の国際競争力強化		
経営改革プラン①		
①	公益貢献の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○集貨及び創貨施策の更なる強化 ・外航航路ネットワークの強化 ・西日本諸港の港湾間ネットワークの強化 ・新たな貨物の創出
	期待される効果	戦略的な集貨・創貨施策により阪神港の貨物量増、国際基幹航路を維持・拡大する。
	具体的目標・指標	※いずれも中期経営計画（2025～2029年度）に掲げる阪神港の目標 ○コンテナ取扱量 ・国内シェア 23%以上の維持・拡大 ・取扱貨物量 560万TEU以上 ○国際基幹航路等の輸送力の確保 ・国際基幹航路 10万TEU以上/週 ・国際フィーダー 8千TEU以上/週
②	公益貢献の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○生産性・資本効率を伸ばすターミナル整備・運用 ・大規模高規格コンテナターミナルの形成 ・フェリー・ライナー施設の機能強化 ・災害をはじめとしたあらゆるリスクに強いターミナル運営
	期待される効果	コンテナターミナルの機能強化、施設の維持・更新を通じて、物流機能の高効率化を図る。
	具体的目標・指標	①と同様（中期経営計画に掲げる計画目標の達成を目指す）
③	公益貢献の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○脱炭素社会実現に向けたCNP形成支援 ・新技術（DX・GX）の導入やターミナルの脱炭素化 ・環境などのサステナビリティ課題への対応
	期待される効果	新しい技術の導入等により脱炭素化を促進し、港の価値を向上させる。
	具体的目標・指標	①と同様（中期経営計画に掲げる計画目標の達成を目指す）

■ 観点② 経営改善

ミッション①

外部環境の変化に対応できる経営基盤の強化

経営改革プラン①

①	経営改善策	○人材開発および経営基盤の強化により、機動的・安定的な経営体制を構築する ・効率的かつ柔軟に対応できる人材・環境の醸成 ・海外港湾との交流による経験・技術のさらなる向上 ・安定的な財務体質の確保
	具体的目標・指標	自己資本比率 10%以上確保